

【京都】 京都市左京区岡崎天王町26-6

ホテルオークラ京都 岡崎別邸



銀閣寺や南禅寺、平安神宮、京都国立近代美術館等の「今昔の京都」を楽しめる文化的エリア岡崎に2022年1月に開業した、日本国内では約20年振りとなる「ホテルオークラ」グループ初のスモールラグジュアリーホテル。美しい自然との調和を意識したシンプルなデザインを軸に、気品溢れる京都の伝統と文化を取り入れた造りは正に大人の隠れ家を思わせる。静かな佇まいの中に一歩足を踏み入れると、京の伝統工芸を担う後継者6人によるプロジェクトユニット「GO ON (ゴオン)」を始めとする芸術家等が手掛けたアート作品がゲストを出迎える。繊細に組まれた金網つじ照明の暖かな光、西陣織のウォール、竹細工で組まれた格子には、朝日焼の器等が彩を添え、新しい京都の「美」に出会う事が出来る。

宿泊ゲストに嬉しいおもてなしも充実。ロビーでの「祇園辻利」のかぶせ茶とオリジナルクッキーのウェルカムティーの他、夕暮れ時の庭園が美しい16～18時の間、1Fの「ラウンジ」では、赤、白、スパークリングのワイン等を提供するフリーローサービスを実施。ディナー前のアペリティフを楽しめるのも大人の旅の醍醐味だ。メインダイニング「ヌーヴェル・エポック」では、山下亮一料理長による、伝統のオークラフレンチに京都の食材を使った、京都ならではの一品を提供する。



①全60室の客室は京の美意識を感じられる。写真は「ガーデンルーム」②新進気鋭の感性豊かな作品で彩られた「ヌーベル・エポック」③東本願寺岡崎別院の自然豊かな庭園を臨むテラス ④日本のフランス料理の父と称され、オークラフレンチの基礎を築いた故・小野政吉の系譜を引く美食と京食材の融合が五感で味わえる

【大阪】 大阪市中央区南船場4-1-3

W大阪



2021年3月に開業。「W」はマリオット・インターナショナルが展開するブランドの1つで、1998年にニューヨークで誕生したラグジュアリー・ライフスタイルホテル。同ブランドの日本初進出となる「W大阪」は、世界的建築家・安藤忠雄氏がデザインを監修し、テーマである「大阪商人の遊び心」を、ミニマルな外観とカラフルで華やかなインテリアのコントラストで体現している。客室は50室のスイートルームを含む全337室。6つのバー&レストラン、スパ、フィットネス、屋内プールやバンケットルームを備え、「W」ならではの上質でユニークなサービスを提供。

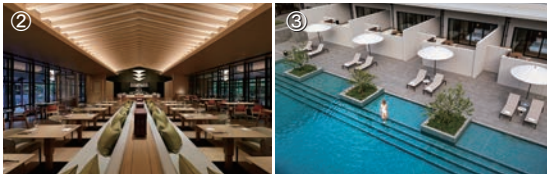
【京都】 京都市北区衣笠鏡石町44-1

ROKU KYOTO, LXR Hotels & Resorts



①シンプルなデザインで自然との調和を意識した客室②レストラン「TENJIN」には、自然を感じられるテラス席も③京都で唯一の天然温泉使用の屋外サマープール

400年以上前に本阿弥光悦が芸術村を築き上げ、才能ある芸術家を世に輩出してきた琳派発祥とされる鷹峯の地に、2021年、ヒルトン最上位ブランドがアジア太平洋地域初進出。コンセプトの「Dive into Kyoto」には、歴史・文化等、型に嵌まらない独自の美学を築き上げて来た、知る人ぞ知る京都の奥深い魅力に浸って欲しいという想いが込められている。客室は、天然温泉が個室で楽しめるタイプの他、屋外サマープールに直接アクセス出来る部屋など全5タイプ。フレンチレストラン「TENJIN」では「自然・芸術・料理」をモチーフに、琳派の芸術から着想を得た珠玉の料理が揃う。



【三重】 志摩市阿児町神明731

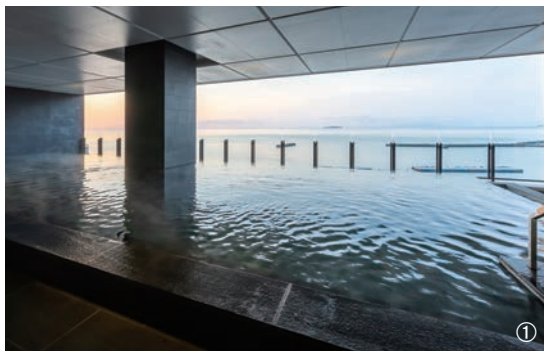
志摩観光ホテル ザ クラシック / ザ ベイスイート



伊勢志摩国立公園内にある、歴史あるラグジュアリーリゾートホテル。2016年にはG7伊勢志摩サミットの会場にもなった。広大な敷地には宿泊施設「ザ クラシック」、「ザ ベイスイート」の他、開業時の意匠を残すパブリックエリア「ザ クラブ」があり、多彩な滞在のひとときを提供。特に「ザ クラシック」「ザ クラブ」は、昭和を代表する建築家・村野藤吾の設計で、館内では貴重な家具や調度品が見られる。又、「ザ ベイスイート」では、最上階の屋上庭園から望む英虞湾の絶景を楽しむ他、館内各所に使われている約5万3000の真珠にも目を

【静岡】 熱海市東海岸町6-45

熱海 パールスターホテル



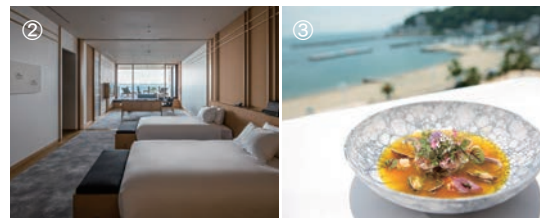
熱海のシンボル「金色夜叉」の銅像と「お宮の松」の正面に2022年9月に開業。いぶし金散りばめられた荘厳な列柱、町家をイメージした組子型のシェードと玄武岩があしらわれた粹でモダンな雰囲気が特長なリゾートホテル。自家源泉から汲み上げた天然温泉を使用する最上階の大浴場は、「天空の船」をイメージした全長12mのインフィニティバスで、熱海湾と空が1つに溶け合うパノラマが広がる。全87室の客室は、テラスから熱海湾を開放的に望むタイプやヒルサイドのスイート等、様々なタイプがあり、全ての風呂に温泉を使用。又、ホテル滞在をより快適にするきめ細やかなバトラーサービスも、「本当の上質」の一翼を担う。料理は地元食材を生かした旬の味覚が楽しめる。6Fのダイ

奪われる。各館には絵画も多数あり、特に藤田嗣治の大作「野遊び」は人気が高い。伊勢志摩は、古来「御食つ国」と呼ばれ、朝廷へ食物を納めて来た場所でもあり、鮑・伊勢海老など海の恵み豊かな地。両館には5つのレストランがあり、地元食材を使ったホテル伝統の「海の幸フランス料理」は、国内外の賓客・文人にも愛されてきた。中でも「鮑ステーキ」「伊勢海老クリームスープ」は代名詞とも言える一品。「星空観察会」や朝のリラクゼーションヨガ、カフェ&ワインバーでのジャズ演奏など多彩なアクティビティも用意。ホテルから車で約10分の場所には女子プロツアーが開催された「賢島カンツリークラブ」があり、本格的なチャンピオンコースにも挑戦できる。自然の中で心と身体が解放される宿泊体験を心ゆくまで楽しみたい。



①ウッディな雰囲気「ザ クラシック」のロビー ②志摩観光ホテルは1951年4月に開業。46年に伊勢志摩地区が戦後初の国立公園に指定されたこともあり、戦後初の純洋式リゾートホテルとして建設された。69年に「ザ クラシック」、2008年に「ザ ベイスイート」が開業。歴史あるホテルの心温まるおもてなし ③両館には宿泊者全員が自由に利用出来るゲストラウンジがあり、英虞湾の景観と共に飲み物やお菓子等がセルフスタイルで楽しめる ④全室100㎡以上のスイートタイプを誇る「ザ ベイスイート」 ⑤邸宅のように寛げる「ザ ベイスイート」の「コーナースイート」

ニングフロアは、輝く海を背景に5つのレストランとバーを配置。「ローカルガストロノミー シンフォニア」は、フランスの3つ星「ラ・メゾン・トロワグロ」他で修行した青木和宏料理長が美しいフランス料理を提供する。「日本料理 舩 MIYOSHI」は、各地の名店で腕を振るった青木薫料理長による繊細な料理が魅力。カウンター席から熱海湾のパノラマを眺められる「寿司 舩 MIYOSHI」、ライブ感が楽しめる「鉄板 鱈 TOMO」、「ザ・バー キール」では是非シグネチャーカクテル「Pearl Star」をお試し頂きたい。1Fの「中国料理 山海香味」は、川口海一料理長による医食同源をテーマにした広東料理を提供。お薦めは海と空を間近に感じる6Fにあるテラスとガゼボ。爽やかな潮風を感じながらゆったりと寛ぎの時間を過ごして頂きたい。



①熱海湾を一望するインフィニティバス。広がる海と空との一体感と体の芯まで温まる天然温泉に癒やされる ②テラス付きの開放的な客室。「ジュニアスイート オーシャンビュー」からは四季を通じて開催される熱海海上花火も間近に鑑賞出来る ③絶景を目の前に美食を楽しむ6Fの「テラス」。熱海ならではのローカルガストロノミーを存分に味わえるブイヤベースは人気の一品